

大学改革

ラッシュ

―選ばれる条件―

約8500人の学生が在籍する北海学園大学（札幌市）。十勝管内の高校からも現役生約60人が進学し、札幌圏の大学で最も多い。

5学部のうち4学部が文系と文系大学の印象が強いが、唯一の理系である工学部も1968年設置と半世紀以上の歴史を持つ。同大は2028年度、工学部を建築都市学部と情報科学部の2学部に再構築する構想を進めている。

学園の工学部は「建築」「情報」に

植松武是工学部長は「工学部の4学科いずれも社会的なニーズが高く、就職先は引く手あまた。道内経済を支える人材を多数輩出してきた」と実績を語る。一方、「本学の

② 地域が求める学部へ改組

文理の枠超え人材育成

理系の強みを十分伝えられていなかった」と工学部の認知不足を課題に挙げる。学びの内容が分かりやすくイメージできる学部名に生まれ変わり、理系学部の存在感を高めたい考えだ。

植松部長は「文系志向の学生でも基礎から学べるカリキュラムを整備する。総合大学としての長い歴史があり、工学部と文系学部が連携して基盤を築いてきた。今後そのニーズに応えていきたい」と

力を込める。

北星初の理系 公立大と連携も

北星学園大学（札幌市）が27年度新設予定の情報科学部は、同大初の理系学部。拠点となる新校舎を大谷地キャンパスに建設し、最先端のテクノロジーを扱う技術力と社会を結び付けた「社会実装力」を育む。

情報科学分野に強い公立千歳科学技術大学（千歳市）と連携し、新たな教育プログラムを編成。両大の学生が授業内で交流、共同研究プロジェクトなども計画しているという。

「道内経済を支える人材を多数輩出してきた」と実績を語る北海学園大の植松教授（工学部長）

「道内経済を支える人材を多数輩出してきた」と実績を語る北海学園大の植松教授（工学部長）

一方、文系を強化する大学も。北海道工業大学を前身とし、11分野に強みを持つ北



北星学園大学は新学部で数学・プログラミングの学習支援システムを導入予定。7月のセミナーで展示した（同大提供）

地方の現場訪れ 課題学ぶ北科大

未来デザイン学部の梶谷崇学部長は「道内の地域社会への貢献は建学からの基本理念。道内各地から学生を迎え、卒業後に地域にお返しするのが人間社会学科創設時からの考え方だった。これまでの経験と実績を土台に、喫緊の課題である地方創生に取り組む文系学部をつくる機運が高まった」と背景を説明する。

同大は十勝管内を含む30以上の自治体と連携協定を結び、この関係性を生かした現地学習に力を入れる。学生が実際に地域を訪れ、住民との対話を通じて地域課題を学ぶ。少子化で大学間の競争が激しくなる中、梶谷学部長は選ばれる大学の条件を「道内地域・社会に必要とされ、期待に応えられる大学であること」と語っている。

（安藤有紀）

海道科学大学（札幌市）は27年度、現在の未来デザイン学造学部地域創造学科を開設する。